

デジタル戦略として目指すべき方向性は、これまで築き上げてきた地域の店舗網や営業担当者といったチャネルを最大限に活かした「リアルとデジタルのベストミックス」であるとの考えのもとで進めてまいります。

急速なデジタル化の進展にあわせ、パソコンやスマートフォンなどで完結するサービスを拡充する一方、ライフプラン相談や事業課題の解決など、対面での解決力を高めるデジタル化にも取り組んでまいります。

これまでの主な取組み

個人のお客さまへの取組み

● 通帳アプリ（通帳レス口座）

スマートフォンをご利用のお客さま向けに、安心・便利な指紋認証・顔認証機能でかんたんにログインできる「通帳アプリ」を提供しています。ご利用開始後は、登録口座の残高や入出金明細をスムーズに確認できます。

入出金明細は登録後最大10年分保管でき、キーワード検索やメモ機能も備えています。

「通帳アプリ」により通帳をペーパーレス化する選択肢をご提供することで、紙資源を節約し、SDGsに貢献します。



● AIを活用した営業推進

AI分析システムを導入し、お客さまの属性情報や取引履歴等のデータ解析をおこなうことで、お客さま一人ひとりに合わせた最適なタイミングで金融商品の推進が可能となりました。

ローン商品だけに留まらず資産運用商品の推進モデルも構築し、最適なタイミングで情報発信をおこなうことで、お客さまに対して効果的なアプローチをおこなっています。今後もAIの活用範囲を広げ、効果的な営業推進を図ります。

法人・事業主のお客さまへの取組み

● トランザクションレンディング –口座動態情報を活用した事業性融資–

2019年10月から当行の預金口座の入出金情報などを利用した審査モデルによる融資商品「ちゅうぎんビジネスローン New Type」の取扱いを開始しました。創業1年程度のスタートアップ企業を中心に、決算書不要で審査をすることでスピーディーな融資を実現します。

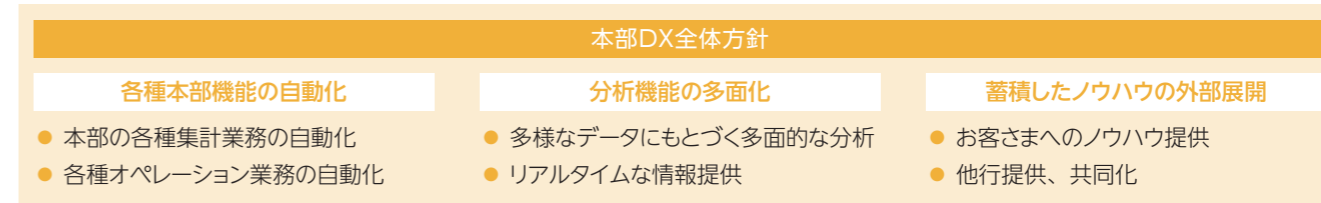
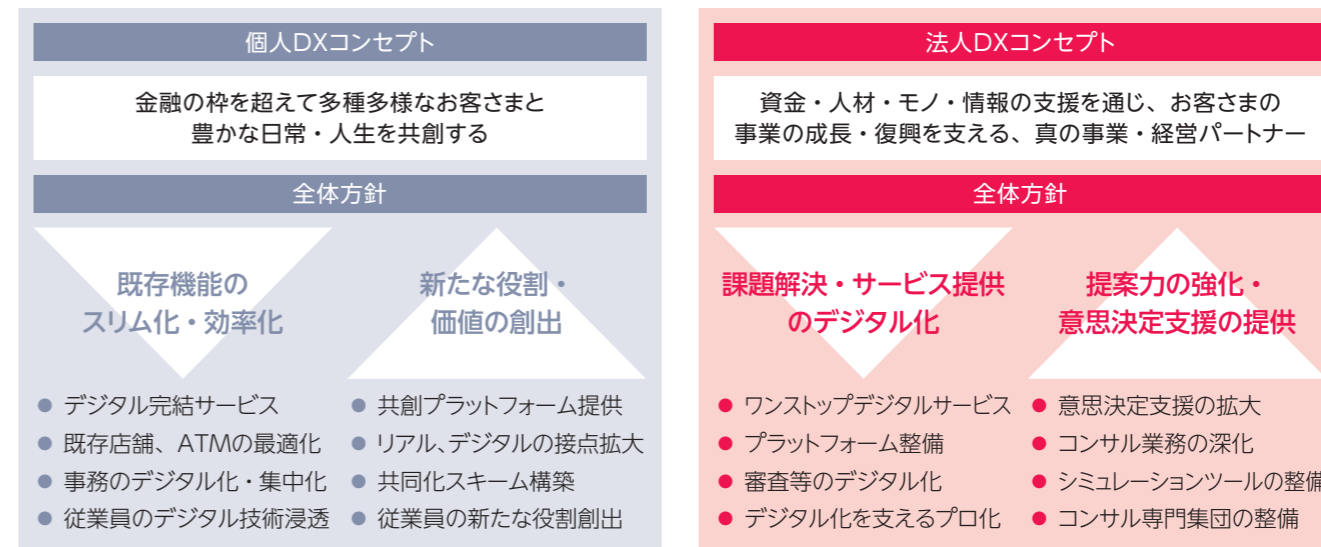
また、当行ホームページから申込みいただき、当行所定の条件を満たすお客さまには郵送による手続きにより来店不要で完結できる商品となっており、より幅広いお客さまの資金ニーズにお応えしていきます。

● クラウド型会計ソフトの提供

クラウド型会計ソフトを提供するfreee株式会社と提携し、2019年9月から「会計freee for 中国銀行」の取扱いを開始しました。会計freeeは預金口座の取引明細の自動取得や仕訳の自動処理機能に特長を有しており、会計freeeの提供により会計業務の効率化を通じてお客さまの生産性向上を支援しています。

また、創業の手續きに必要各種書類をインターネット上で効率的に作成できる「会社設立freee for 中国銀行」（法人を設立されるお客さま向け）、「開業freee for 中国銀行」（個人で事業を開始されるお客さま向け）も同時にサービス提供を開始し、他の創業支援への取組みとともに創業者を支援しています。

デジタル戦略のコンセプトおよび方針



新中期経営計画における取組み

営業面では、新たな総合サービス提供の準備として、既存の金融サービスの利便性向上を徹底して図ってまいります。

個人のお客さま向けでは、ワンストップ型の総合サービス基盤として、スマートフォンアプリの全面リニューアルをおこない、簡単に金融サービスがご利用いただけるよう大幅な機能改善および拡充をおこないます。また、店頭のお手続きにおいても、店頭タブレット「TSUBASA Smile」を用いて通帳・伝票・印鑑レスでの取引を拡充します。

法人のお客さま向けでは、事業運営上の課題をワンストップで解決する基盤として「法人ポータルサイト」を開発します。また、リアルチャネルにおいても渉外担当者がお客さまの各種ご要望に応えられるよう、より高度な事業分析・企画支援等のご提案が可能となるAI等を用いたデジタル武装を進めてまいります。

本部業務では、これまでRPA(Robotic Process Automation)を用いた業務の自動化を実施していますが、今後は更に徹底した自動化の取組みを加速させてまいります。また、デジタル化の推進により得られるさまざまなデータの利活用により業務の効率化や施策の立案に繋げてまいります。

デジタル戦略の方向性

